

The Learner

Doshisha International Academy Elementary School

May
ISSUE



May, 2022
Volume 123

「親子で探究してみませんか」

皐月 5 月、行楽シーズンとなりました。

新一年生も在校生も新しい学年が始まって 1 カ月が経ち、学校生活にも少し落ち着きが見られるようになってきました。

春は新しいものを揃えると同時に今までのものを片付ける、最近の言い方と言うと「断捨離」の時期です。断捨離とは不要な物を断ち、捨て、物への執着から離れることでヨガの行法が元になっているそうです。英語では聞き慣れませんが decluttering と言います。

我が家ではこの春、子供が小さい頃使っていたおもちゃ、ベッド、三輪車、絵本などを処分しました。故障していたエレクトーンは処理に困ったのですが、一念発起して家族で解体し、燃えないゴミに出すことにしました。ボルトを外して、板をノコギリで切って、半日がかりでしたが、妻が子どもの頃から使っていた愛着のあるものであっただけにゆっくり思い出を噛み締めながら進めていきました。すると、中の装置の作りがとても興味深く意外なところに磁石が使われていたり、鍵盤が戻る仕組みやスピーカーの素材などに見たことのない部品が使われていたりといろんな発見をしました。そこから我が家の解体ブームが始まり、ちょうど壊れていたゲームのコントローラーから息子たちは、「ジャイロシステム」の正体を見つけたようです。

学校で学ぶクラフトは「作る」ことが中心ですが、逆に「壊す」こともまた作る事につながっています。ところで皆さんは「段ボール箱の展開図」ってどうなっているかご存知ですか。サイコロの

展開図は 6 つの正方形からできている事は教科書にも載っていますが、一般の段ボールは 12 の面が組み合わさってできています。またトイレットペーパーの芯は、長方形ではなく平行四辺形の紙からできているのです。

DIA では保護者の方々に「ぜひお子さんと探究を楽しんでください。」とお願いしていますが、一緒に博物館や図書館に行くことばかりがそれではありません。

家の中にも探究のヒントは散りばめられています。クッキーの空き箱があつたらずい分解してみてください。段ボール箱と同様に丈夫な作りになるような工夫がなされています。もちろん解体すると危ないものもありますので、気をつけてくださいね。

また新聞紙や段ボールを捨てるときにも、紐をどう結べばずれないようにくくれるのか、考えてみてはどうでしょう。親から子へ教えるというよりも、どうやったら簡単に強く縛ることができるかを一緒にインターネットなどで調べて、親子で実践してみる。発展すれば、ごみの分別や SDGs への学びにつながるかもしれません。「お手伝い」とは違ったアプローチで、親子ともに新鮮な気持ちで取り組めるといいですね。

日常生活の中には親子で探究できる場面は他にもきっとたくさんあると思います。一緒に探究学習、(もちろん時間に余裕があるときに) ぜひ楽しんでやってみてください！

教頭 西村孝次



キリスト教教育

5月：尊敬 May: Respect

「あなたの慈しみの業を現してください。攻め来る者から逃れる者を 右の手をもって救われる方。」
(詩編 17:7 聖書協会共同訳)

少し季節外れかも知れませんが、今月は「てぶくろ」というウクライナの民話をご紹介しますと思います。

「てぶくろ」あらすじ…

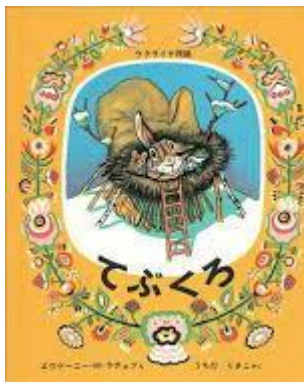
ある時おじいさんが子犬を連れて森を歩いていましたが、手袋を片方落とし、気付かないでそのまま行ってしまいました。

するとネズミが駆けて来て手袋に潜り込み、「ここで暮らすことにするわ。」と、言います。そこへカエルが跳ねて来て、「私も入れて。」と言うので、「どうぞ。」と答え、二匹で暮らすことにします。その後、我も我もと手袋で暮らしたがる動物が増えていき、そのたびに先の住人たちは「どうぞ。」と答えて入れてあげるのですが、最後はイノシシやクマまでもが入りたがるので、さすがに「ちょっと無理じゃないですか。」「とんでもない。満員です。」と、答えるようになります。ところがイノシシもクマも、「いや、どうしても入ってみせる。」と言って無理やり入って行くので、結果7匹の動物たちが住まうことになり、手袋は今にもはじけそうになります。

その頃、森を歩いていたおじいさんは手袋が片方無いのに気付く、元来た道に戻って捜しました。子犬が先に駆けて行き手袋を見つけますが、手袋がむくむく動いているので吠えたてると、中にいた動物たちは驚いて手袋から這い出し、森のあちこちへ散らばって逃げて行きました。そこへおじいさんがやって来て、手袋を拾い上げました。(終わり)

おじいさんの片方の手袋に大小含めて7匹の動物が入ったということは、おじいさんが普通サイズの人なら動物たちが小人の国の住人、逆に動物たちが普通サイズならばおじいさんと子犬は巨人の国の住人、ということになるでしょう。

感じ方は人それぞれですが、私にはこのおじいさんは神さまで、おじいさんが落とした片方の手袋にひしめき合っている動物たちが私たち地球上の人間、というように思えてなりません。動物同士では多少の大きさの違いや強い弱いがあるものの、所詮は神さまの大きな御手の中で育まれ、生かされている存在です。もし小さな手袋の中で争いを始めて、せつかく恵みとしていただいた手袋を無残にも破いてしまうようなことがあれば、突如「やれやれ!」と手袋自体をはたかれ、まるで害虫のように中身を一扫されて、最初から何も無かったことにしてしまわれたとしても、私たちの方からは「おじいさん」に一切文句を言える立場にはない。そんな風に感じたこの物語でした。



「てぶくろ」の画家エウゲーニー・M・ラチョフ (Evgenij Mikhajlovich Rachev)はロシアの代表的な絵本作家ですが、キーウ (キエフ) の美術研究所 で学んだ後キーウの出版所に勤め、子どもの本の絵について教わりました。後にモスクワの国立児童図書出版所絵画部の編集長を務め、数々の優れた動物絵本を生み出しました。今回ご紹介したのはウクライナ民話の絵本でしたが、もう一つの代表作はロシア民話で、「マーシャとくま」です。同じ訳者で出版されていますので、こちらもぜひお手にとってみてください。

Christian Education Committee チャプレン 石川眞弓

← ウクライナ民話「てぶくろ」
エウゲーニー・M・ラチョフ 絵
内田 莉莎子 訳
福音館書店 2015 (学校の Library にあります)



＜お知らせ＞

- ・2022年度の「おにぎり献金」は、①岩手キリスト教学園認定こども園宮古ひかり②福島県の若松聖愛幼稚園③熊本県の慈恵病院「こうのとりのゆりかご」(通称赤ちゃんポスト)④ウクライナ人道支援募金(国際赤十字など)のために捧げます。
- ・5月の「おにぎり献金」は、5月17日(火)です。ご協力いただける方は、お子様に献金をお持ちください。なお、感染症予防のため、献金は必ず封筒・ジップロック等に入れておいてくださいますよう、お願い致します。

4年生 校外学習

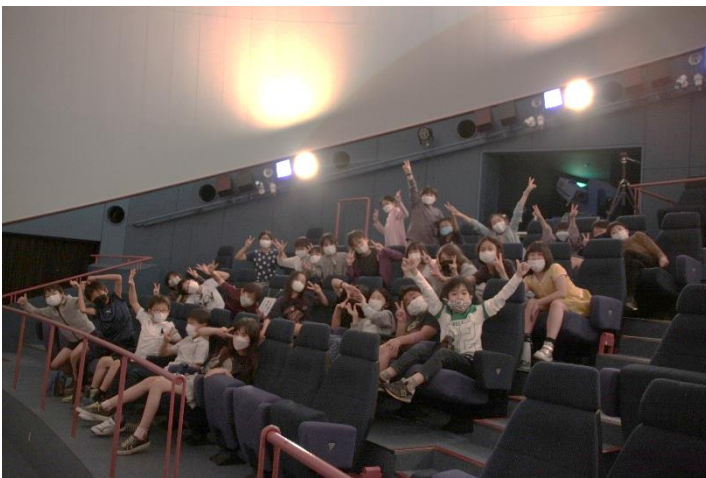
4年生では教科横断的テーマを“Where we are in place and time”、セントラル・アイデアを“Understands and observing our surroundings helps us manage our lives.(自分たちのまわりを理解し、観察することは、上手に生活していくことにつながる)”として探究の学習を進めています。子どもたちの学習がより深いものになるよう、4月28日(木)に「文化パーク城陽」へプラネタリウムの見学に行きました。

部屋に入ると、空に見立てた天井の大きさに子どもたちはびっくり。「大きい!」「すごい!」と声をあげていました。

前半は「星空を見上げよう」というテーマで太陽や月の動き、月の満ち欠けについての動画を交えたお話を視聴しました。

後半は職員の方が「夏の大三角」「冬の大三角」や様々な星座、北極星の探し方や星の動き方などを、実際に星を投影しながら解説してくださいました。

普段、夜でも明るい都会では見ることの難しい星も見ることができ、短い時間でしたが、ゆったりと観察することができました。この後、子どもたちの探究学習がどのように深まっていくのか楽しみです。



プラネタリウム投影が始まる前の様子です。何が見られるのかな?ワクワクしています。



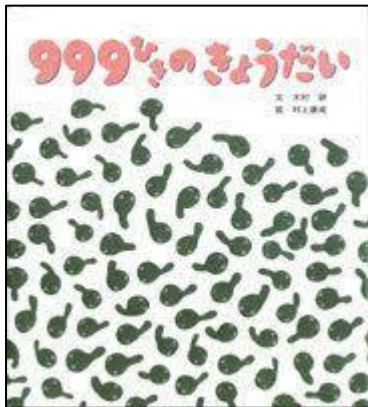


5月のおすすめ～カエルの本～

早いもので、5月になりました。新緑も目にまぶしく、草花や昆虫たちも生き生きと活動を始めました。

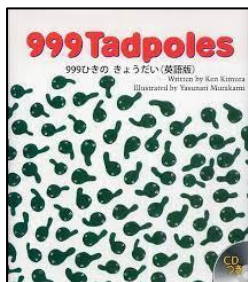
2年生は、「生き物は、周りの環境に合わせて変わる必要がある。」とのセントラルアイディアで生き物の探究を行います。今日はたくさんいる生き物の中からカエルを選び、彼らにまつわる本を紹介したいと思います。

「999 ひきのきょうだい」文・木村研、絵・村上康成



この本は、タイトルの通り、999匹のカエルの赤ちゃん、オタマジャクシが主人公です。小さな子どもたちはたくさんのきょうだいたちとたくましく毎日を過ごしていますが、天敵に遭遇する大ピンチを迎えます。さて、彼らはどうやって切り抜けるのでしょうか。

実はこの本には英訳本があるとともに、シリーズで様々なお話が出ています。DIA 図書館にも置いてありますので、是非ご家族で楽しんでいただければと思います。



「がまくんとかえるくん」アーノルド・ノーベル 作



言わずと知れた名作です。「がまくんとかえるくん」シリーズの中で「手紙」をご存じの方も多いのではないでしょうか。お互いを思い合う温かい気持ちにジンとし、友達に会いたくなるお話です。学年を問わず、いろんな視点から改めて考えさせられるお話です。是非手に取っていただきたい1冊です。

5月の主な行事・予定

1	日	
2	月	Unit1(Week3)
3	火	憲法記念日
4	水	みどりの日
5	木	こどもの日
6	金	
7	土	
8	日	
9	月	Unit1(Week4)
10	火	G2 山城郵便局
11	水	委員会活動
12	木	Swimming
13	金	
14	土	
15	日	
16	月	Unit1(Week5)
17	火	健康診断
18	水	PYP プラン (午前中授業)
19	木	
20	金	
21	土	第1回学校説明会 (午前中授業)
22	日	
23	月	21日の代休
24	火	Buffer Week Conference Week(午前中授業)
25	水	Conference Week(午前中授業)
26	木	Conference Week(午前中授業)
27	金	Conference Week(午前中授業)
28	土	
29	日	
30	月	Unit 2 (week 1) Conference Week(午前中授業)
31	火	

6月の主な行事・予定

- 4日 京都私小連合同音楽会 (G4)
- 8日 花の日礼拝
- 29日 同志社研修 (午前中授業)